

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		コロナ禍であり、外出することが困難なため外部との交流機会が失われている。地域との交流が不足している。	コロナ禍出会っても外部との交流を積極的に行い、外の環境との触れ合いをすることが出来る。	地域の中の障がい者施設との交流や法人内のキッズホームの園児との交流でをすることで目標を達成させる。	3ヶ月
2		チームをまとめるチームリーダーが育っていない。全ての職員が信頼しあえる環境づくりが急務。	現在のリーダーの成長。新人指導や働きやすい環境を作る。一人一人の個性に合わせた指導が出来るリーダーを作る。	リーダー育成の研修への積極的な参加。参加した研修を今度はスタッフに当事者が研修を開催することで、身につける。職員一人一人との面談を増やす。	3ヶ月
3		グループホームではあるが、利用者のADLのレベルが低下をしてきており、利用者と職員との共同作業が難しくなっている。	ADLが低下をしたなかでも利用者個人が出来ることを提供し、利用者が前向きに考え行動できるように職員のレベルを上げる。	利用者一人一人の認知機能のほかに、生活歴を把握する。その中で利用者個人が出来ること出来ないことを把握し利用者提供の中で、成長につなげる。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。